「嚶鳴フォーラムin恵那2022」関連事業

第19回 下田歌子賞作品募集

綾錦(あやにしき) 着てかへらずば 三国山(みくにやま)
またふたたびは 越(こ)えじとぞ思(おも)ふ

わが国近代女子教育の先駆者と言われる下田歌子先生は、固い決意と強い思いを歌に託して、16歳でふるさと岩村を離れ、東京へと旅立ちました。

あなたは、これまでどんな「志」をもって歩んできましたか？ これから、どんな「志」を持って生きていきますか？ 今の私、明日の私に伝えたいこと。明日の私のために、今、できること。やってみようと思うこと。家族、知人友人、そして世の中の人に伝えたいこと…。「志」をテーマに、あなたの想いを綴ったエッセイと短歌を募集します。

募集テーマ

志（こころざし）

書：神谷慎軒

―今、伝えたいこと―

応募締切 令和3年 9/2（木）

当日消印有効

郵送・Eメール・インターネットで応募できます

エッセイの部

募集テーマに沿って、
具体的なエピソードを添えた作品をお寄せください。（1人1作品に限ります。）

◉応募内容 ［募集テーマ：志］

一般の部…2,000字程度
（400字詰原稿用紙5枚程度）
中高生の部…1,200字程度
（400字詰原稿用紙3枚程度）
小学生の部…800字程度
（400字詰原稿用紙2枚程度）

◉審査委員

童門冬二（作家）
吉田公平（東洋大学名誉教授）
初風 緑（女優、元宝塚歌劇団）
難波雅紀
（実践女子大学・実践女子大学短期大学部学長）
寺田昭一（月刊誌「歴史街道」特別編集委員）
小坂喬峰（岐阜県恵那市長）

◉各賞

〈一般の部〉
最優秀賞…1編　副賞（賞金10万円）
優秀賞…3編　副賞（賞金3万円）
佳作…5編　副賞（賞金1万円）

〈中高生の部〉
最優秀賞…1編　副賞（図書カード1万円分）
優秀賞…3編　副賞（図書カード5千円分）
佳作…5編　副賞（図書カード3千円分）

〈小学生の部〉
最優秀賞…1編　副賞（図書カード5千円分）
優秀賞…3編　副賞（図書カード3千円分）
佳作…5編　副賞（図書カード2千円分）
嚶鳴協議会賞…3名
＊学校賞…応募作品数が顕著に多い学校

短歌の部

◉応募内容 ［募集テーマ：志］

応募は一人1首に限ります。
応募方法は「エッセイ募集」に準じます。

◉審査方法

候補作品の中から恵那市民及び恵那市を訪れた方に受賞推薦作品を投票していただき、得票数順に決定します。

◉各賞

〈一般の部〉〈中高生の部〉〈小学生の部〉
部門ごとに入選5首
副賞　一般…賞金1万円、記念品
中高生…図書カード5千円分、記念品
小学生…図書カード3千円分、記念品
＊学校賞…応募作品が顕著に多い学校

表彰式・記念イベント 令和4年 1月22日（土）

応募先・問い合わせ先 恵那市教育委員会　生涯学習課「下田歌子賞」係

郵送 〒509-7292　岐阜県恵那市長島町正家一丁目1番地1　インターネット 恵那市HPから「下田歌子賞」で検索…▶

Eメール syo-gakusyu@city.ena.lg.jp（タイトルに「下田歌子賞」と明記）

◉主催　恵那市先人顕彰事業「下田歌子賞」実行委員会、学校法人実践女子学園、岐阜県恵那市、恵那市教育委員会　◉共催　株式会社PHP研究所
◉後援　岐阜県教育委員会、多治見市教育委員会、土岐市教育委員会、瑞浪市教育委員会、中津川市教育委員会、東京都日野市、日野市教育委員会、嚶鳴協議会（恵那市、大野町、沖縄市、小田原市、釜石市、木曽町、高鍋町、多久市、竹田市、田原市、東海市、長野市、日田市、養父市、米沢市）

第19回
「嚶鳴フォーラム in 恵那 2022」関連事業

下田歌子賞作品募集

募集要項

募集テーマ

志（こころざし）　―今、伝えたいこと―

応募期間

令和３年6月３日（木）～同年9月２日（木）（当日消印有効）

エッセイの部

◉応募内容

一般の部…2,000字程度（400字詰原稿用紙５枚程度）
中高生の部…1,200字程度（400字詰原稿用紙３枚程度）
小学生の部…800字程度　（400字詰原稿用紙２枚程度）

短歌の部

◉応募内容

応募は一人１首に限ります。

応募方法

作品のタイトル（エッセイのみ）、氏名（ふりがな）、年齢（児童・生徒の場合は学校名・学年）、性別、住所、電話番号、募集をどのようにお知りになったかを明記した任意の用紙を添付して、下記のいずれかの方法でお送りください。

①郵送：〒509-7292　岐阜県恵那市長島町正家一丁目１番地１
　　恵那市教育委員会 生涯学習課「下田歌子賞」係
②Ｅメール：syo-gakusyu@city.ena.lg.jp
　（タイトルに「下田歌子賞」と明記願います。）
③インターネット：恵那市ホームページから「下田歌子賞」で検索し、所定のフォームでお送りください。→
※ファックスでの応募は受け付けません。

応募上の注意

●応募作品はオリジナルで未発表のものに限ります。
●著作権の問題が生じた場合は、応募者本人の責任となりますのでご注意下さい。入選決定後、著作権の問題が生じた場合は入選を取り消します。
●入選者にのみ12月中旬までにご連絡します。
●応募作品は返却しません。審査及び結果に関するお問い合わせには応じかねます。
●入選作品の著作権は主催者に帰属します。入選作品は、主催者・共催者のＨＰ、受賞作品集等で公開します（有料頒布になる場合もあります）。
●応募作品は、個人情報に抵触しない範囲で、募集テーマに関する傾向分析資料などに利用させていただくことがありますのでご了承ください。
●本募集によって主催者が取得することとなる応募者に関する個人情報は主催者が責任をもって保管し、本事業の実施に必要な範囲（連絡、運営、お問い合わせ等）に限り利用します。

発表・表彰式

●令和４年１月22日（土）、岐阜県恵那市で発表・表彰式。「一般の部」最優秀賞受賞者、「小学生の部」「中高生の部」各賞受賞者と保護者１名は、旅費主催者負担で発表・表彰式にご招待しますのでご出席ください。
●「小学生の部」「中高生の部」受賞者には、表彰式で受賞作品を朗読していただき、来場者が最も感動した朗読を投票により選び、各部３名に「嚶鳴協議会賞」を授与します。

下田歌子先生について

わが国女子教育の先駆者で、歌人としても名高い下田歌子先生は、安政元年（1854年）美濃国岩村藩（現在の恵那市岩村町）に生まれました。幼い頃より和歌を詠み、漢詩を吟ずるなど学才に恵まれ、明治４年（1871年）16歳のとき父の後を追って上京。翌年宮中に女官として出仕し、その和歌の才能を愛でられた皇后陛下（後の昭憲皇太后）から「歌子」の名を賜りました。

明治12年（1879年）に宮中を辞した後、自宅に学校を開設して女子教育に力を注ぎ、明治18年（1885年）に創立された華族女学校では学監兼教授を務めました。２年余の欧米女子教育視察を経て、明治32年（1899年）に私立実践女学校（現在の実践女子学園）と女子工芸学校を創立しました。その後も、女性の自立自営をめざして、裁縫学校や夜間学校を各地に設立するなど、新しい時代の女子教育に一生を捧げ、昭和11年（1936年）82歳の生涯を閉じました。

下田歌子先生が遺した言葉「女性の清らかな徳性と豊かな情操をもって社会の弊を正せ」や「揺籃（ようらん）を揺がすの手は以て能く、天下を動かすことを得べし」に代表されるように、下田歌子先生は高い志を持って近代日本の女性の地位向上に力を尽くしました。

●下田歌子についてはこちら　学校法人実践女子学園HP…→

下田歌子賞について

下田歌子賞は、平成16年（2004年）の下田歌子先生の生誕150年を迎えるにあたり、先生のふるさとである旧岩村町（現在の恵那市岩村町）が岐阜県、実践女子学園およびＰＨＰ研究所の協力を得て、先生の業績を顕彰しつつ、エッセイ募集を通して、現代人の生き方や考え方、教育のあり方などを共に考え、学ぶために設けた公募賞です。第８回からは、先生に因んで短歌募集も加わりました。

原田芳洲画「下田歌子先生肖像」
（岐阜県恵那市蔵）

嚶鳴（おうめい）協議会とは

ふるさとの先人をまちづくり、人づくり、心そだてに活かしている自治体が参加する協議会。恵那市では、来年度（令和４年度）、佐藤一斎生誕250年を記念して「嚶鳴フォーラム in 恵那 2022」が開催されます。